『第２７回リサイクル作品コンクール』審査結果について

白河地方広域市町村圏整備組合（管理者　鈴木和夫　白河市長）は、家庭の廃棄物を利用して作製したリサイクル作品の審査会を令和５年１０月５日（水）午後２時より、西白河地方リサイクルプラザで開催しました。

これは、限りある資源を大切にする意識の高揚を図ることを目的として、組合管内２６小学校の４年生を対象に、夏休み期間中を利用し、リサイクル作品の作製を依頼して行うコンクール事業で、本年度は、２６校５９２作品の応募があり、各校で事前審査を経た７６作品を対象に、組合職員及び衛生施設関係者（計５人）によって審査会が行われました。

審査の結果、いずれもアイデアいっぱいの力作揃いの中から、お菓子の袋、アサリ、新聞紙、割り箸、爪楊枝、発泡スチロールを利用して作製した　白河市立みさか小学校　國井 壮輔（くにい　そうすけ）さんの「シーラカンス」が最優秀賞に選ばれました。

この作品は、新聞紙などで作成した型に、カットした食品トレイを貼り付けて作成したシーラカンスとなっております。食品トレイやアサリの模様を上手に使用した姿形と爪楊枝の骨組みとお菓子の袋で作成した魚類特有のヒレでシーラカンスの神秘的な姿を再現しており、様々な工夫とリサイクルを意識した作品となっています。

本コンクールは、今年で２７回目となり、年々リサイクルを意識した作品が増えており、子供達の豊かな発想にあふれた作品が多く見られました。

《　審　査　風　景　》